

“サロン”+ “いきいき体操教室”でコロナ払拭し良い年を！！

三会場でサロンといきいき体操教室行っています。サロンは健康体操が主ですが、いきいき体操教室は、脳トレと健康体操とを半ばずつ行なっています。



湯郷渡サロン



下母畑サロン



上母畑サロン



←上母畑いきいき体操教室の“脳トレ”で「ひらがな書き」の足し算引き算に苦戦し迷解答にため息をついていました。

→湯郷渡いきいき体操教室の“脳トレ”では、一画追加の漢字作りで頭を抱え、ことわざ記入で更に頭を悩ませていました。



 第三回福祉部会開催
 * 12月16日（水）13:30～第三回福祉部会が
 * 開催され、「一人暮らしの要望対応」について
 * 話し合いが行われた。



第三回福祉部会会議

1月の行事

- | | |
|--|--|
| 4日（月） 9:30 仕事始め式 | 14日（木） 13:30 ハーモニカ教室 |
| 5日（火） 9:30 湯郷渡サロン
講師：中島リパティ | 21日（木） 9:30 下母畑いきいき体操教室
講師：廣田智（理学療法士） |
| 8日（金） 9:30 上母畑いきいき体操
講師：廣田智（理学療法士） | 22日（金） 9:30 上母畑いきいき体操
講師：廣田智（理学療法士） |
| 12日（火） 13:30 下母畑サロン
講師：ニチイ学館 | 23日（土） 13:30 書道教室 |
| 13日（水） 13:30 白菊学級 | 28日（木） 13:30 ハーモニカ教室 |
| 14日（木） 9:30 湯郷渡いきいき体操
講師：廣田智（理学療法士） | 30日（土） 13:30 書道教室 |

編集後記 新年あけましておめでとうございます。コロナ禍の中、新年を迎えてしまいましたが、まだ先が見えません。今後どうなるのでしょうか？ 明るい希望を持って待つしかありませんね。そんな中、出来たら元気が出る事業・イベントを企画して参りたいと思いますので 宜しくお願い致します。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（287）小5 遠藤 可子さん

教育目標	令和3年1月	第570号
「輝け！ 母衣旗」	発行日	令和3年1月1日
	発行所	母畑自治センター
	責任者	センター長 瀬谷 長一



2021輝かしい新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。また、母畑自治センターが行う各種事業やイベント、また母畑地区自治協議会活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、衷心より御礼を申し上げます。

さて、去年は年度当初から新型コロナウイルス感染が全世界的に拡大し、日本国内も同様に感染者が急増いたしました。このため石川町当局から感染予防対策のため、新しい生活様式の徹底や各団体に対して会議やイベント等の自粛要請があったところであります。

母畑自治センターに於いては3密を避けるため、年間の3大行事であります6月のスポーツ大会、9月の敬老会を母畑地区公民館時代からの永い歴史の中で初めて中止といたしました。また各種イベントも中止せざるを得ない異常な年となってしまいました。このような中で11月の文化祭は規模を縮小して実施し、木の根作品や書道、菊花、生け花、民具・農具などが多数出展され多くの人に鑑賞して頂きました。

母畑地区自治協議会では母畑地区まちづくり計画に基づき、計画達成に向け役職員一同鋭意努力して参りました。その結果一人暮らしの見守りやコミュニティセンター建設に前進がありました。年明けには詳しい報告が出来るものと考えております。

また、令和1年10月発生の台風19号による洪水発生時の避難指示の反省と教訓を生かし災害時の避難援助活動を担う母畑地区自主防災組織が発足いたしました。

新年度は母畑地区の伝統と文化を守り従前同様の各種行事・イベントを復活して参りたいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染の第3波が進行中で先の見えない状況が継続しております。一日も早く人体に安全なワクチンが開発され、平穏な日常生活を取り戻し、安全・安心、健康と元気、活力ある地域となることを願う次第であります。

そして母畑自治センターに多くの人が集い、学び、遊び世代間を超えた交流が展開されることが私どもの本年度の大きな目標であります。このため、職員一同頑張って参りますので、地区民の皆様には従前同様の御支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、健やかで幸多い年となりますことを御祈念いたしまして、新年の御挨拶と致します。

母畑自治センター
 センター長 瀬谷 長一
 事務長 圓谷 貴司
 事務員 永沼 直好



『母畑ふるさとマップ』 (1)

『栗子平の八幡神社について』

湯郷渡字米子平 永沼 功

湯郷渡字米子平、母畑保育所前の丘に八幡神社がある。祭神は菅田別命外三柱の神、創建由緒等は明らかでないが祭日は九月十九日である。

神社入口の旗台に若宮八幡神社とあるが、石鳥居の額には八幡神社とある。町史を調べると一七一四年(正徳四年)九月中田矢造の若宮八幡は湯郷渡から移されたと記されている。旗台は昭和三十六年九月十九日氏子一同により奉納された新しい物であり、石鳥居は年代不明であるが新しいものではない。鳥居後ろ左側には二十三夜塔、十九夜供養塔(天保六年四月、文化二年十一月)子安観音像(嘉永二年三月)、聖徳太子の碑(明治十七年旧八月)がある。七十二段の石段を上がると境内広場があり、平成七年八月十五日まで毎年盆踊りが行われた。二間四面の拝殿に続く本殿には流造二社及び日吉造に似た一社がある。境内末社は破損が甚だしく明らかでない。

母畑油穀の戦い 須釜村史大寺城のてんまつから

石川城主昭光、早くも此の由を知って、家臣添田兵庫之佐吉村を総大将となして、三森入道十郎左衛門、谷沢兵庫之頭等を副将に兵三百九十余人を従えて戦う。これにおいて、添田等は兵百二十人を抜刀隊に編成、これを六隊に分け、第一隊は添田兵庫佐、第二隊に三森入道、第三隊は谷沢兵庫頭、第四隊に金田八十郎、第五隊は三浦修理大夫、第六隊に中村老岐。槍手八十人を四隊に組織し、第一隊は永窪越後、第二隊に岡田豊後、第三隊は瀬谷丹波等、各々これらの将となり、また、弓手には、第一隊牧備中、第二隊は但馬、第三隊を添田弥衛門等が各二十人を従え、湯坂に陣をとる。湯郷渡の住人、塩田伊勢守は兵五十人を率えて、本隊への右翼に陣を構える。外楨の住人、石川松之助末光は六十余人を従えて、左翼湯前山に陣を取る。大寺勢の樋田坂に陣をとるを聞き、添田、三森等の総将は左右両翼の兵をとめ、本隊を率えて、樋田坂を攻めようと進みるを、大寺勢、これを見て樋田川を渡り、両軍は油穀平に会し、大いに戦うが、石川勢は倒れる者が十八人、遂に敗れ、群れを乱して退く。大寺勢はこれを追撃し、湯坂に至る。石川勢塩田、伊勢、石川末光等は兵を連れ、東西より挟撃乱射する。添田等も亦、軍を返し戦う。大寺勢安部清任、野口宗高、安部清任等尾組に合流、母畑北岸に陣をとり防戦につとめるも、石川勢は勝に乗じ破竹の勢いをもって攻めてくる。大寺勢は殊死して戦うも、これを支えることができず、退いて大寺城に籠もる。石川勢は追撃し、大寺城に肉迫すれば、清光は白旗を掲げて、降参する。これによって、添田、三森等の石川勢は戦いを終え、使者をもって、石川大和守に報せる。翌日、昭光公は自から家老溝井六郎義信を従え来たりて、元来、大寺家は石川氏の一族なるをもって、大いに勘酌し、大寺領の中野、塩沢、吉の三村を没収して和を結ぼうとする。しかし、大寺城主清光公はあらかじめ、須賀川千用寺の住僧秀芸、石川長泉寺住僧泰念に調停を頼み斡旋によって、中野、塩沢、山小屋の三村を割譲することにより和議が整う。これによって、石川昭光公は、家臣石盛因幡を山小屋に遣わし、また、中野の館主塩沢丹後守高平は石川大和守の属臣となるにおよんで大寺家の勢力は大いに弱くなる。油穀の戦い後(一五九〇)、大寺領は昭光にことごとく没収される。大寺氏の一族、家臣の多くはみな石川家の随臣となった。



8 八幡神社



母畑字米子平



第一回母畑自主防災部会会議開催

母畑自治協議会 自主防災部会発足初会議開催

12月11日(金)18時から母畑自治センターにて第一回自主防災部会を開催いたしました。第一回会議は、瀬谷自治協議会長が主体で開催し、「母畑地区自主防災部会組織」、「母畑地区自主防災行動計画」、「母畑自主防災部会研修」等について協議した結果、全て承認された。

- ◎母畑自主防災部会組織 (25名)
- ・部会長 角田保寿(母畑区長会長)
 - ・副部会長 木戸勘一(母畑区長会副会長)
 - ・副部会長 添田 勤(母畑区長会副会長)
 - ・副部会長 白髭納男(母畑区長会会計)
 - ・部会員 各区副区長(4名)、区長OB(4名)、消防団員OB(各区2名)、行政経験者(2名)、自治センター職員(3名)
